

富山高等専門学校	開講年度	平成30年度(2018年度)	授業科目	歴史学Ⅱ			
科目基礎情報							
科目番号	0218	科目区分	一般 / 選択				
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1				
開設学科	電子情報工学科	対象学年	4				
開設期	後期	週時間数	1				
教科書/教材	なし						
担当教員	市嶋 聰之						
到達目標							
室町時代から近世初期にかけての北陸および関東地域社会の形成過程を理解する。地域史を素材としたレポート作成により、調査能力と論理的表現力をつける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	日本史の全体的な流れを理解し、主要な人物や制度、事件等に関する詳細な知識を習得している。	日本史の全体的な流れを概ね理解し、主要な人物や制度、事件等に関する基本知識を習得している。	日本史の全体的な流れを理解できず、主要な人物や制度、事件等に関する基本知識も欠如している。				
評価項目2	歴史的事象の詳細な内容を知り、その意義を正確に理解して、論理的に説明することができる。	歴史的事象の概要を知り、その意義を概ね理解して、簡潔に説明することができる。	歴史的事象の知識が不十分で、その意義もほとんど理解できない。				
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 3							
教育方法等							
概要	目標:歴史の諸事例を通じて、社会の諸現象を多面的かつ深く掘り下げて理解する考察力をつけける。 概要:富山県を中心とした北陸地域の中世史・近世史を主題とする。地域史を積み上げていくことにより、中央の視点による「通史」の脱構築をはかる。また、室町時代の政治史を題材として、日本史を東日本と西日本の相違という観点からも再考し、多元的に日本社会をとらえる見方を涵養する。						
授業の進め方・方法	教員単独による講義						
注意点	教科書は用いないので、板書と配布レジュメが定期試験の主な出題根拠となる。定期試験以外に、レポート(最低一回)も評価対象とする。評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にあっては、その評価を60点とする。						
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
後期	3rdQ	1週	北陸における戦国動乱Ⅰ				
		2週	北陸における戦国動乱Ⅱ				
		3週	北陸における戦国動乱Ⅲ				
		4週	北陸における戦国動乱Ⅳ				
		5週	北陸近世史Ⅰ				
		6週	北陸近世史Ⅱ				
		7週	北陸近世史Ⅲ				
		8週	中間試験				
後期	4thQ	9週	東日本中世史Ⅰ				
		10週	東日本中世史Ⅱ				
		11週	東日本中世史Ⅲ				
		12週	東日本中世史Ⅳ				
		13週	東日本中世史Ⅴ				
		14週	東日本中世史Ⅵ				
		15週	東日本中世史Ⅶ				
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	210	0	0	0	0	90	300
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	70	0	0	0	0	30	100
分野横断的能力	70	0	0	0	0	30	100